

評価シート（年度評価）

男女平等参画推進センター・女性会館の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：スポーツ市民局・教育委員会事務局＞

指定管理者	アイ・コニックグループ		
主な業務内容	講座・セミナー事業、市民活動支援事業、情報提供、交流事業など		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	・不正アクセスが発生した際、個人情報を保有している認識が低く、市への報告をはじめとする対応が遅かった。
	(2) 開館の実績	利用日・利用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	△	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	△	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績を挙げているか。	○	
	(2) 事業実施状況	計画通り事業が実施されているか。	○	
	(3) 広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。	○	
	(4) 接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	○	
	(6) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて対応しているか。	○	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 収支状況	当初の予定通りの収支状況になっているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
「イーブルなごや・フェスティバル」にて活動グループの動画を作成し、YouTube と館内の大型モニターで公開して各団体の活動の情報発信に努めた。 新型コロナウイルス感染症対策として「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」などの措置が繰り返される中、利用者や施設ボランティアが安心・安全に施設を使用できるようきめ細やかな注意喚起を行い、またアクリル板を設置するなど柔軟に対応した。

施設の現状

男女平等参画推進センター・女性会館

施設の現状	施設概要							
	男女平等参画推進センター 男女共同参画社会の実現を目指した名古屋市における総合的な拠点施設であり、男女平等参画の推進に関する施策を実施するとともに、市民及び事業者による様々な取り組みを進めている。							
	女性会館 「女性の学習・交流・情報の拠点」として、女性の学習活動・グループ活動の支援等を行い、女性教育の振興を図っている。							
	市の収支状況(千円)（3年度決算見込み額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	82,370	913	83,283	497	1,034	81,752	83,283	13,540
特記事項								
平成26年4月に男女平等参画推進センターを女性会館へ移転し、両施設を一体的に管理運営する指定管理者制度を導入（金額については両施設の合計値）								
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	入館者数		人	246,146	238,172	117,115	159,072	
	貸室研修室等利用率		%	72.5	72.6	52.6	56.4	
	特記事項							
	・平成26年度から男女平等参画推進センターと女性会館は一体的な運営を行っているため、「入館者数」については、両施設の合計値である。 ・令和2年3月2日から5月31日まで 新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため休館した。 ・令和2年度は、前期主催講座・事業を中止した。 ・令和2年6月1日から令和3年10月30日まで貸室の定員を規定の2分の1とした。令和3年10月31日より、大声を出すことが想定される活動を除き、部屋の定員を規定通りに戻した。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

男女平等参画推進センター・女性会館の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：スポーツ市民局・教育委員会事務局＞

指定管理者	アイ・コニックスグループ		
主な業務内容	講座・セミナー事業、市民活動支援事業、情報提供、交流事業など		
評価対象期間	平成 30 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 5 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分				特記事項
1 基本事項	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	③人材育成や、関係法令遵守について不十分な点があったが、改善報告があった。 ③不正アクセスが発生した際、個人情報保有している認識が低く、市への報告をはじめとする対応が遅かった。
(1) 平等利用	○	○	○	○	
(2) 開館の実績	○	○	○	○	
(3) 情報管理	○	○	○	△	
(4) 職員体制	○	○	○	○	
(5) 法令等の遵守	△	○	○	○	
(6) 事故・災害等への対策・対応	○	○	○	△	
2 維持管理	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	
(1) 建物・設備の保守点検	○	○	○	○	
(2) 警備業務	○	○	○	○	
(3) 清掃業務	○	○	○	○	
(4) 備品の管理	○	○	○	○	③ホームページをリニューアルし、情報提供を強化。 ①若年層が参加する市民交流事業を実施した。 ①ホームページに講座・セミナーのテーマ別参照機能を追加した。 ②名古屋市立大学の学生と共同でパープルリボンダンス動画を作成。 ②YouTube チャンネルを開設した。
3 サービス	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	
(1) 利用実績	○	○	○	○	
(2) 事業実施状況	◎	◎	○	○	
(3) 広報・PR の実施	◎	◎	◎	○	
(4) 接客態度	○	○	○	○	
(5) 苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	
(6) 利用者満足度	○	○	○	○	
4 経費等	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	
(1) 執行状況	○	○	○	○	
(2) 収支状況	○	○	○	○	
(3) 再委託	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）

30 年度	ホームページをリニューアルし、メニュー構成を一新、コンテンツを充足し、操作性や利便性の向上を図った。また、貸室利用方法等の説明を一新したり、主催講座を画像付きで紹介したりするなど、情報提供を強化した。 ホール天井等落下防止対策工事によってホールや駐車場の一部が長期間使用できなかったため、利用率は 29 年度 74.7%から 30 年度 72.5%と減少した。 施設、設備が老朽化するなか、緊急性の高いものから対応し、施設の運営に支障がでないよう努めている。
-------	--

元年度	新型コロナウイルス感染症による休館について、講座・施設利用申込者に対してメール・電話での迅速な連絡に努め、またホームページでのお知らせ閲覧を促し、伝達漏れによるトラブル発生を防いだ。 中高大学生が参加する講座を実施し、若年層の市民交流を促進した。ホームページに講座・セミナーをテーマ別に表示する機能を追加し、講座申込の利便性を向上させ応募促進に努めた。その他、施設、設備が老朽化するなか、緊急性の高いものから対応し、また照明・机・椅子等の更新をはかるなど、施設の運営に支障がでないよう努めている。
2 年度	令和 2 年度前期講座・事業が中止となった期間の情報発信として、ホームページ上でコラム「家族会議をしましょう」を連載した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、カメラ付き体温測定器設置、サーキュレーター等を導入したほか、利用者が安心して施設を利用できる環境づくりに努めた。
3 年度	「イーブルなごや・フェスティバル」にて活動グループの動画を作成し、YouTube と館内の大型モニターで公開して各団体の活動の情報発信に努めた。 新型コロナウイルス感染症対策として「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」などの措置が繰り返される中、利用者や施設ボランティアが安心・安全に施設を使用できるようきめ細やかな注意喚起を行い、またアクリル板を設置するなど柔軟に対応した。

3 利用及び収支状況等

具体的な取り組みや成果等
平成 30 年度から令和元年度にかけて実施したホール天井落下防止工事、及び令和元年度に実施した立体駐車場工事によりホールや駐車場の一部が長期間使用できなかったため、平成 30 年度、令和元年度とも利用者数・利用率が平成 29 年度に比べて減少した。また、令和 2 年 3 月から 5 月まで新型コロナウイルス感染症対策により休館し、開館後も利用制限などを行った影響により令和 2 年度は利用者数・利用率とも落ち込んだ。令和 3 年度も利用制限や新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、感染症流行前までの利用者数・利用率に至らなかった。 施設・設備の一部は昭和 53 年開館時のもののため築 40 年以上経過して老朽化が激しく、施設維持にかかわる緊急性の高いものから修繕を行い、施設の運営に支障が出ないように努めている。

4 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
利用者満足度調査において、窓口対応について「とても満足」「満足」と回答した割合が 4 年連続 98%以上だった。図書資料室の満足度については、「とてもよい」「よい」と回答した割合が平成 30 年度では 93.2%であったが、令和 3 年度では 96.3%になった。

5 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
指定管理者の 2 期目の管理として、1 期目よりも利用者満足度調査の評価が高く、また日々の事業運用や設備点検等も滞りなく行われている。一方で、人材育成や関係法令の遵守、情報管理及び事故発生時における対応について不十分な点があり、市から改善を求めた。 広報面では、YouTube チャンネルを開設し、イーブルなごやフェスティバルでの事業や活動グループ等の動画を配信することで、情報発信を広げた。 また、利用者のニーズにあわせ「無料インターネット接続サービス」を設置した。事業については、毎年開催している「パープルリボンキャンペーン（女性に対する暴力をなくす運動）」にて、パープルリボンダンス動画を作成するなど利用促進に努めた。